



2025 年 6 月 26 日

各 位

会 社 名 日 本 ラ イ フ ラ イ ン 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 CEO 鈴 木 啓 介  
(コード番号:7575 東証プライム市場)  
問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員 CFO 江 川 毅 芳  
(TEL. 03-6711-5200)

### 取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の機能の向上を図るため、2018 年 3 月期より取締役会の実効性に関する分析・評価を行っております。この度、2025 年 3 月期における取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

#### 1. 評価方法の概要

当社取締役会は、取締役会の実効性を分析・評価するために、取締役に対するアンケートを実施いたしました。当該アンケートの実施にあたり、社内外の環境を勘案し評価項目について検討を行うとともに、評価における客観性を確保するため、外部の専門家にアンケート設計への助言、回収および集計・分析を依頼し実施いたしました。

(1) 対象者 全取締役 16 名

(2) 評価方法 自己評価アンケートの実施および分析結果に基づく取締役会における審議

#### 【自己評価アンケートの大項目】全 28 問

- ① 取締役会の構成と運営
- ② 経営戦略と事業戦略
- ③ 企業倫理とリスク管理
- ④ 業績評価と経営陣の評価・報酬
- ⑤ 株主等との対話

#### 2. 分析・評価結果の概要

自己評価アンケートの実施及び分析結果に基づく取締役会における審議の結果、評価項目全般にわたって、取締役会全体としての役割及び機能を適切に果たしており、実効性を確保しているものと分析・評価いたしました。

各評価項目においては、重要かつ適正なサステナビリティ情報の開示体制に関する評価が大幅に改善しました。これは、専門家のアドバイスを活用しながら開示に取り組んだ結果、外部評価機関からの評価が向上したことによるものと分析しております。また、株主との建設的な対話を促進する体制構築に関する評価も高く、機関投資家との対話を通じて得られた意見が取締役に共有され、様々な経営判断に反映されていることを確認いたしました。

一方で、役員トレーニングの充実が引き続き課題であること、また DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を通じた持続的な企業価値の向上が今後の重要な課題であることを共有いたしました。

当社は今後も取締役会の定期的な分析・評価を実施し、実効性向上に向けた取組みを行うことによって、中長期的な成長を支える基盤の強化に努めてまいります。

以上